

愛知民報

2015年
12月20日
第2286号

発行所 愛知民報社
〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番27号
愛知あかつき会館内
☎(052)251-2925 FAX(052)261-6063
定価 月 400円 郵送料160円 1部 100円
毎週日曜日発行(第5日曜日は休刊)
(1966年7月31日第三種郵便物認可)

週刊
愛知民報を
周りの人に

日本共産党が 各界懇談会 「国民連合政府」に期待



日本共産党の「戦争法廃止の国民連合政府」提案を説明する井上さとし参院議員の話聞く人たち。12日、名古屋市熱田区。

日本共産党愛知県委員会は12日名古屋市内で、「戦争法廃止の国民連合政府」提案の各界懇談会を開きました。主催者あいさつで岩中正巳委員長は、「提案」について県内400の団体・個人を訪問して懇談し、共感や賛同が広がっていることを紹介。違憲の戦争法廃止を呼びかけました。活発な懇談がおこなわれ、県内各地で安倍内閣打倒の共同が広がっていることが浮き彫りになりました。

井上さとし参院議員が報告

「提案の説明に立つ うしても必要。国民的た日本共産党の井上さとし参院議員は「国民連合政府」について説明。井上氏は「安倍政権の打倒、立憲主義・民主主義を守るために国民運動から生まれた提案」と述べ、「戦争法の廃止だけでなく、集団的自衛権行使容認の閣議決定を撤回し、戦争の芽を摘み取るには政府をつくることごと

「戦争法廃止の国民連合政府」提案は、安倍自公政権が戦争法を強行成立させた9月19日、日本共産党の志位和夫委員長が発表。「わが意を得たり」「国民が渴望した提案」など各界から歓迎の声があり、国民の中で「提案」の方向が1つの流れになっている。

「戦争法廃止の国民連合政府」提案

志位氏は「提案」発表後、民主、社民、生活の各党首と会談。「いいスタートが切れた」と述べている。参院選での野党共闘をめざし、戦争法反対の市民団体と5野党との意見交換会が重ねられ、熊本など参院選1人区では、野党統一候補擁立の動きが広がっている。

「戦争法廃止の国民連合政府」提案についての各界懇談会でのゲストの発言の一部を紹介します。

「反共は戦争前夜」

真宗大谷派 報恩寺住職

社会保障と平和を守る

愛知県保険医協会 副理事長

反対の意思を可視化する

Anti-fear500 (アンティファナゴヤ)

石川勇吉さん



板津慶幸さん



コロさん



25年間、宗教者平和運動に取り組んできました。憲法がうたう平和を世論として盛り上げる必要があります。日本共産党の「提案」は、私自身の願いに応えるものです。政党や宗教・宗派の違いや、過去の行きがかりは乗り越えなければなりません。共同に対する分断としての反共攻撃があります。かつて故蜷川虎三氏(元京都府知事)は「反共は戦争前夜の声」と喝破しました。国民全体の共同認識にすべきだと思います。

協会にはいろいろな政党を支持する医師・歯科医師がいますが、戦争法廃止の1点で共同を呼びかける「提案」に否定的な方はいません。その後、秘密保護法や戦争法はおかしいと、アンチ・ファシズムの声を上げてきました。多くの人が集まることで反対の意思を可視化できます。対等平等、同じ目線で動くことが重要です。「野党が結束しよう」と志位委員長が提案したことは願ったりかなったりです。英知を集結して私たちの手で戦争法廃止を。